

Title	社会主義の現状及び将来
Sub Title	
Author	田中, 萃一郎
Publisher	三田学会
Publication year	1910
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.4, No.5 (1910. 11) ,p.501(1)- 524(24)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	論説
Genre	Journal Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19101100-0001">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19101100-0001</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

パニック起る、これ最近百八十年間約十年毎にその發生を見た  
る所以なり、保護は今日の繁榮を來したれども今は却てその餘  
毒に苦しみつゝあり、即ち各種の事業に於て數多の同業者を生  
じ相互競争に勞れてトラストを形成し一般物價の騰貴甚しく今  
ヤトラスト制禦は最大の問題たり、インターステート、コンマ  
ースコミティ又はアンテイ、トラスト、ロー等の手段に訴ふ  
るも他の一方に於て歩一步保護税率を高むるを以て何等の効力  
もなし、然らば保護税を低下又は撤廢せば如何と云ふに之は實  
際に於て不可能なり、米國に於て世界商業戦に於ける二大武器  
を有す棉花製鐵業、即ち之なりトラストの餘波として物價騰貴  
せるも生産費は物價の二十分に過ぎざるものあり、これ實に  
世界と競争するを得しむる武器なり、かく廉價に生産し得る所  
以は教育普及し職工に至る迄優秀なる技術を有するを以て賃銀  
額は多くとも生産費は却て廉なるによる。米人は生命保険によ  
りて死後の計をなし置き然る上に充分に快樂を享くるを以て常  
に元氣盛に而して日常ジテイメンの養成に心懸く、これ亦その  
強をなすの一因たり

かくて氏は最後に生絲製造を以て我國の産業上の武器なりとな  
し之が發達助長を心懸けざるべからずとてその講演を結ばれたり  
講演終りて堀切教授の謝辭あり引き續き茶菓の間一場の談話を試  
みられたり、曰く、さきに新國定税率の發表せらるゝや世人多く  
は之を見るに單に一片の理論を以てし輕々に論じ去りしも予は單  
に經濟論のみならずして一段高き國家政策論の見地よりして時

事新報紙上に於て大にその不當なるを論じたりしに果して反對は  
同盟國なる英國より起り來れり、當時二三の新聞雜誌を始め外務  
當局者も從來の國定税率(現に實際行はるゝ協定税率にあらず)よ  
りも低率なりとて反駁を加へたりしに今や反對の聲は意外の邊に  
影響を及ぼさむとするを見て當局の狼狽一方ならず、さればとて  
自由貿易國たる英國とは協定の餘地なきを以て我輩の觀察する所  
によれば來る十二月の議會には必ず新國定税率の改正案提出せら  
るべしとかく當夜出席の氣賀堀切兩教授を中心として談論を  
よりそれへと移り清與滄きて夜の更くるを知らず、時鐘に驚きて  
仰げば正に十二時、窓外雨滴點々たり、即ち起つて場を去る(まゆ)

# 三田學會雜誌 第四卷第五號

## 論 說

### 社會主義の現状及び將來

田中萃一郎

個人主義思想の缺乏甚しきを以て、時弊の第一に推さんとするは、余輩の宿論に  
して、中産社會に對する、國家と社會との壓迫、年と共に益々甚しく、その極余輩を驅  
てプロレテリートの群に投せしめざる限り、余輩は利害の上よりも將た意見の  
上よりも、社會主義に賛成するものにあらず。彼の口に社會主義を蛇蝎視しつゝ、  
衷心その學說を信奉するものゝ如きは、余輩の與みせざる所なり。然れども、兩國  
橋下の水のテームス河上に通ずるは、林子平を俟て而して後に知らざる所、倫敦の  
郵信二旬ならずして東京に達する今日、檢夫爾の鎖國論に心醉して、思想上に於て

社會主義の現状及び將來

までも卓然として、東海の一角に孤立し得可しとは思はれず、これ余輩が敢て歐米に於ける社會主義の現状如何を説かんとする所以にして、而して併せてその將來に關して評論を加へんとする所以なり。蓋し精神は唯精神によりて屈服さる可きのみ *Der Geist sich nicht anders dämpfen lässt als durch Geist* 誤れる思想は正しき思想によりて之を屈服せざる可からず。社會主義を壓倒せんとせば飽くまでその謬見たることを確信して之が將來を論評し、所謂主義者をして幻滅の苦酸を味はしめざる可からず。

名あつて而して後その實あるにあらず、實あつて而して後その名あるなり。然れども社會主義、社會主義者なる熟字の起源に關して一言するも亦無用の業にあらざる可し。チエアリング、グロツスの仕立屋、フランシス、プレースの傳記を草するに方りて、グラハム、ウオラスは曰く

『思ふに社會主義なる熟字の最も早く記されたるは一八三三年八月二十四日發行の *Poor Men's Guardian* ならん。同紙は *A. Socialist* と署名せる書簡を登載せり。

當時社會主義者とはオウエン主義者と云ふと擇ぶ所なかりしが、一八三八年六月二十三日發行、北辰紙上に収録せる、オーブライヤンの論文中には更に廣義の意味に之を用ゐんとせり。曰く「賢明なる社會主義者の急進主義者となり、聰明なる急進主義者の社會主義者となるの傾向あることは余の信ずる所なり」と。然るにプレースは一八四一年に述べて曰く「ロバート、オウエンの世上に流布せる學說財産平等の思想は世人を邪路に導くものなり、今日社會主義と呼ばるゝはこの學說なり」云々』

と。然るにオウエン主義鼓吹に努力せる雑誌 *The Crisis*、こそは一八三三年に於て貨物の共有、犯罪、刑罰、官吏、結婚の廢止を主張する社會主義者は、リチャード同胞若くは、ジョアンナ、サウスコートの徒と等しく狂人と認めらるゝとて初めて社會主義者の熟字を用ゐ、而してサン、シモンの徒を指してかく呼べるにて、貧者之保護者は「クライシス」よりこの熟字を借用せるなりと説くものあり。社會主義者とは當初オウエンの徒がサン、シモン主義者に對して用ゐたるものなりや、將た又オウエン主義者自身の稱呼として用ゐたるものなりや、余輩は今之を斷言し得ざるも、社會

主義 Socialisme なる熟字はその前年即ち一八三二年にサン、シモン派の日刊新聞 Le Globe 紙上に於て初めて用ゐられたり。即ちジョンシエールのユイゴアの近業霜葉集を評するや、我等は社會主義を個人性の犠牲となすを欲せず況んや個人性を社會主義の犠牲に供するに於てやと云へるがその意義は極めて茫漠たりき社會主義、社會主義者なる熟字は、右の如く初めて英佛兩國に於て用ゐられしものなるが、學理的社會主義の萌芽も亦英國に於て之を認む可し。例へば餘剩價值説の如き、休職海軍士官ホツヂスキンが、リカードの經濟學原理を精讀して、立言せる所にして一八二〇年五月二十八日附を以て、前記フランス、ブレイースに寄せたる書狀に於て述べて曰く

「自然價格と交換價值との間に精確なる區別を立つること必要なりと存候。自然價格は品物を生産するに必要な労働の分量によりて之を測る可く、交換價值即ち生産されたる曉その品物に對して、他人の交附せんとする、若くは交附せざるを得ざるものは、その生産に用ゐられたる労働の分量と等しきこともある可く、又等しからざることも可有之候。且氏はこの兩者を以て相等しと誤解せ

る様見受申候。この兩者は決して相等しからず、これ労働の賃銀の常に労働の所産に匹敵せざる所以に御座候。例へば一クオーターの小麥を生産するには一定の労働を要し候が、この小麥の生産の曉地主にして農夫たる人の貯藏に歸する時は、之を生産するに要したる労働に比して遙かに多大の分量と之を交換することゝなる可く、隨て自然價格と交換價值との間に大差の存することは明瞭に御座候。且氏はこの點を等閑視せるが爲、社會の改善されたる時利益の減少すとの説に關して、謬見に陥り候事と存候

と。ホツヂスキンの餘剩價值説はリカードの労働價值説の當然の結果なりと云ふ可し、マルクスの資本論の公刊以後、その學者の間に喧傳せられしことに就ては敢て説明を要せず。

サン、シモン、オウエン、ホツヂスキン等の社會主義は、マルクス、エンゲルス、ラッサール、リーブクネヒト等の社會主義と同じく、何れも労働者の主唱に係れるものにあらずして、これらの主唱者は皆中等社會より起て、労働者の間に遊説し、之が覺醒に努力せるなり。所謂先覺者が労働階級以外より起て、之を指導し、之を挑撥する

6 は古今一揆にして、余輩はこの點に關し、歴史を無視するの言議を弄するものあるを聽く毎に、その無識を憫まざるを得ざるなり。而して英國當年の社會主義者に對し、何れも空想論者にして、到底實行し難き計畫を立て、模範的小社會の建設に盡力したるに過ぎずと云ふものあるも、これ亦史的研究を怠り、普通の教科書に誤まられて、ロバート・オウエンを以て當時の運動の代表者なりと目するもの、言なるのみ。即ち一八三一年には、労働階級全國同盟倫敦に於て設立せられ、Each for all and all for each なる文句を標榜して、労働者を團結せしめて資本家の壓抑を脱せしめんとし、加盟者は當初一ヶ月一片宛後に二片宛の會費を納めたり。その運動は一時極めて活潑にして、各地に支部を設け、毎週集會を催せしも、之が首唱者は労働者にあらず、労働階級は之に對して極めて冷淡なりき。英佛の外米國に於ても亦當時社會主義的計畫試みられしが、悉く失敗に歸したり。

蓋し、當時の社會主義者はその間に何等の連絡だも存せざりしが、一八四七年マルクスとエンゲルスとが共產主義者宣言を起草し、且各國の語に翻譯して之を公にするや、社會主義は初めて世界的思潮となれるなり。この宣言はその成立に於

て既に世界的なりしと云ふ可く、發表の地はブリュクセルなりしも、巴里より亡命せる獨逸の社會主義者の倫敦に於て起草せしものにして、各國の第四階級に檄して相提携せよと説けり、世界各國の労働階級は、共通の利害を有せりとの思想は階級的争鬭の學說に基くものにして、資本家と賃工労働者と懶惰なる富豪との階級的軌轍は、英佛兩國の社會主義者によりて夙に唱道されしも、マルクスは更にヘーゲルの辯證法を應用して、之が歴史的意義を看破し、且之が世界的性質を摘發したり。但し、ドクトル、ハムマヒヤーが *Das Philosophisch-ökonomische System des Marxismus.*

Leipzig, 1909 のうちに痛快に論述せるが如く、Proletariate なる熟字に學語的意義を與へしはマルクスに初まれるが、この熟字は元來古代羅馬に於て、子女を生むの外國家に對して何等の貢獻する所なき最下層の賤民を貶稱せるものなるに、社會主義者はこれを以て、國家に取りて眞に有用なる國民の選良なりとなせり。この挑撥的檄文の効果は極めて著るしく、次で一八六四年にマルクスが倫敦に於て萬國労働者協會を設置するや、社會主義の新運動は茲に開始されしも、マルクスの集産的社會主義と、バグニンの無政府的社會主義との内訌甚しくして、何等の活動を

も試みる能はず、協會は一八七六年に至りて消滅したり。彼の共產主義者宣言は社會主義者のバイブルとも稱す可く、而して毫も忌憚する處なく、激烈なる革命の必要を唱道せるが故に、世人が社會主義を以て現制顛覆を期するものなりと信ずるは、強ち失當なりとは云ひ難し。然れどもマルクスの世界的運動は全く失敗に了り、一八八九年以來萬國社會主義者大會の時に開會さるゝあるのみ。一九〇七年シュツットガルトに開かれたるはその第七會にして、本年コッペンハーゲンに開かれたるはその第八會なり。而して萬國労働者協會の消滅せるより以來各國の社會主義者は初めて見る可き活動を示せり。而もその運動は共產主義者宣言に公言せるところと異り、無政府主義者によりて代表されたる革命派は概して集産主義によりて代表されたる立憲派の下風に立てり。これ即ち社會主義の現状なりとす。

二

社會主義の現状、革命主義を斥けて、立憲主義を取れることは、その歐洲各國の議會に於て、代議士を出し、その勢力の強弱の總選舉の際に於ける社會黨候補者の成

功如何と、その得たる投票數如何とによりて、之を測定するの事實に照して之を知る可し。次の表は英國社會民主黨本部の出版に係る一九一〇年社會主義者年鑑より拔萃せるものにして、數字はすべて社會黨側の計算に基けるものなれば、悉く正確なるものなりとは認め難きも、元來この種の統計はその調査極めて困難なれば、暫らく之に従ふこととなせり。

各國議會社會黨實力表

國名	社會黨議員の數	全議員に對する百分率	投票數	國名	社會黨議員の數	全議員に對する百分率	投票數
埃國	九〇	一七、六	一、〇四一、九四八	露國	一六	三、七	—
芬蘭	八四	四二、〇	三三六、七六一	那威	一一	九、四	六七、四三五
佛國	五五	九、四	一、二〇〇、〇〇〇	リトアニア	一〇	二二、二	—
獨逸	四五	一一、三	三、二五九、〇二三	和蘭	七	七、〇	八三、〇三六
伊國	四五	八、六	三三八、八六五	瑞西	七	四、二	一〇〇、〇〇〇
白國	三五	二一、一	四九二、二一〇	土國	六	二、四	—
英國	三四	五、〇	三三四、九二〇	チリ	三	三、二	一八、〇〇〇
瑞典	三四	一四、七	七五、〇〇〇	セルヴィア	一	〇、六	三、一三三
丁抹	二四	二一、〇	九二、六四八	アルヘンチナ	一	〇、八	三、五〇〇

10 この表の調製せられてより以後、英佛西匈丁等の諸國に於て、總選舉あり、白耳義には半數改選あり、社會黨の代議士は稍やその數を増加せるが、英國にありては聊かその勢力を失墜せり。佛國に於ては合同社會黨は投票數に於ては前回の總選舉と大差なきも、議員の數に於ては二十名を増加せり。匈牙利に於ては新首相、キエーンヘデルゾルは國民労働黨と稱する新政黨を起して總選舉に多數を制せしが、この國民労働黨の社會主義と沒交渉なるは佛國議會に於て最も優勢なる社會主義急進黨の事實に於て、社會主義と甚だ相距れるが如し。丁抹の總選舉は注意す可きの變化を生せず、西班牙に於ては一名の社會黨代議士初めて議會に選出せられたり。米國に於ては社會黨は前回の大統領選舉に五十萬票を投じ、州會のうちには社會黨員を議員中に數ふるもの少なしとせず。

政治上に於ける社會主義の實力は右の表によりて斷定し得可きにあらず、英國労働黨中に職工組合派と社會主義者との存するが如く、將た又佛國の社會黨中に合同派と獨立派との存するが如く、其關係極めて曖昧なるのみか、之が意見の相違も容易に測知し難し。然れども社會主義が政治上に有力なる位地を占むるは事

實にして、最近二十年間に於て殊に長足の進歩を見たり。之が先頭に立てるは勿論、獨逸にして、その運動の起源最も古く、而して爾餘諸國に於けるよりも政治上に活動し且一致團結の鞏固なるは、一はマルクスの學說の最も獨逸人に解され易きと、一は人民の權威に服し規律を守るの素養を有するが爲なり。社會民主黨は一八七一年には帝國議會に二名の代議士を選出せしが、爾來苦闘して政府の壓抑に抗し、總選舉毎にその勢力を増加し、一八八七年には七十六萬の投票を得て十一人の代議士を選出せしが、一九〇三年には三百萬票の選舉人を得て八十一人の議員を舉げ得たり。一九〇七年の總選舉には黨勢擴張の從來の率を維持する能はず、投票の増加は僅々二十五萬票に止まり、代議士の數は四十三人に減じたりしが、ビエローの財政改革案蹉跌して、相續稅法案の否決されてより、社會黨は殆んど補缺選舉毎に勝利を博し、今やその議員の數約五十となれり。下層社會をして政權に近かざらしめんが爲に制定されたる三級選舉制度の不利益なるを忍びつゝ、なほ且つ一昨年の普國議會總選舉に於て、初めて七人の代議士を舉げ得たるが如き亦社會主義の成功と目す可し。普國統計局の調査に據るに原選舉人の二割三分、

八厘は社會民主黨の選舉人を投票したりと云へば、三級選舉制の如何に社會黨を禍するかは容易に推測し得可し。

佛國に於ける近世の社會主義は一八七六年に、グードの亡命五年にして歸國せる時に生まれりと云ふ可し、グードはマルクス主義に心酔し、之が鼓吹に全力を傾注せり。對議會運動は一八八五年に初めて開始され、一八八九年には議員の數七人に過ぎざりしに一八九三年には各派の社會黨は四十四萬の投票を得て總計四十三人の議員を出し、議會内の一勢力となれり。一九〇六年には投票は約九十萬に上り、議員の數は増加して五十四人となれり。上述せるが如く獨逸の社會民主黨は最近の總選舉に於て投票數は増加しつゝ、著しく議員の數を減せしに、之に反して佛國の社會黨員は本年の總選舉に於ては投票の増加十萬人に過ぎずして、議席二十を贏ち議員總數七十四人に上れり。但し佛國に於ける社會黨各派の離合集散朝夕を測らざる趣あれば、輕々しく社會主義勢力の消長を口に難しと雖も一九〇五年強硬論者がジョーレスを奉じて合同社會黨を組織せるより、溫和論者は獨立社會黨と稱して之に對立することゝなれり。而して以上に挙げたる最近

兩回の議員數は合同社會黨に就て云へるにて、獨立社會黨は之に計算せず要するに佛國にありては獨逸に於けるよりも政界に勢力あり、一八九九年ミルランが社會黨より出で、初めて内閣大臣の列に加はれるより、數人の大臣を出し、昨年の内閣更迭に於てグリーン内閣議長となり、首相も亦社會黨員の占むる所となれり、その他現内閣には更に三人の社會黨員あり、何れも黨友より主義に忠實ならずとの攻撃を受けつゝあるが、これ最も興味あるの點にして、バインズにせよ、グリーンにせよ、一度責任あるの地位に立たんか、勢ひ舊友の過激なる主張を排斥せざるを得ず。最近の同盟罷業に對し、グリーンの強硬なる態度を執て之を鎮壓せしは當然のことにして、而して合同社會黨の激烈なる攻撃も遂に内閣を顛覆すること能はざりしにあらずや。

英國に於て社會主義の再興せしは佛國よりも遅れ、一八八一年初めて民主同盟の起るあり、二年の後冠するに社會の文字を以てし、現首相アスキスと殆ど同時に牛津に在學せるハインドマン、専ら獨逸式マルクス式の社會主義を英國の地に移植せんと試みたり。而も社會主義の政治上の一運動と認めらるゝに至りしは、一



14 八九三年に獨立労働黨の組織されしより以來のこにして、同黨の勃興は殊に注意を要するものあり。即ち獨英佛諸國に於ける社會民主黨の如く労働階級以外の人士によりて鼓吹されて而して後成立せるものにあらずして、職工組合を組織せる労働者の親から率先主唱せる結果に成れり。初め倫敦にドック並に瓦斯従業者のストライクの起れるに際して一八八九年を以て「新組合主義」new unionismなる運動生ぜしが、これが領袖は職工組合員にして而して社會主義者なりき。その獨逸より輸入されたる社會民主主義の學說の影響を受けしものなることは勿論にして、この運動は次第に各地に蔓延し、遂に一八九三年に至りて坑夫より身を起せるケーア、ハーヂーの奔走によりて、獨立労働黨の組織を見たるなり。その目的は職工組合を民主主義化せんとするにありて、當初數年はその運動微々として振はざりしも、千九百年二月労働代表委員の設置されしより、運動は益々敏活となり、同年の總選舉にケーア、ハーヂーの當選を見たり。次でタッフ、ヴェール事件の判決は職工組合を驅て益々社會主義に近かしめ、労働代表委員の推選せる候補者は一九〇〇年にはケーア、ハーヂーを合せて四人の當選者を出せしに過ぎざりしも、一

九〇六年には忽ち當選者二十九人に増加し、世人の之を見て茫然自失せる間に労働黨と改稱せり。當時坑夫同盟その他の職工組合よりも二十有餘名の代議士を選出せしが、坑夫同盟所屬の代議士十三人は一九〇八年六月の決議を以て労働黨に加盟し、爾餘の加盟者補缺選舉の勝利等によりて、一九〇九年の末には労働黨の議員は總計四十六人を數へたり。本年の總選舉に於ては四十人に減少したりしも、英國の労働黨は爾餘諸國の労働黨よりも、眞の労働階級の代表者なりと目すべく、その勢力の俄然として勃興せしこと又他に類例なし。これ蓋し職工組合なる鞏固なる基礎を有するが爲なりと見る可く、目下黨員總計百四十八萬六千三百八人に上り、うち百四十五萬六百四十八人、即ちその九割七分は職工組合員たり。但し職工組合員は果して社會主義を信奉するものなりや否や、これ余輩が下に於て更に論及せんと欲する所なり。

15 奥國に於ける運動の開始されたるは、獨逸と殆んど時を同うし、リーグネヒトは一八六九年に於て既にマルクス主義をウィーンに於て傳道せり。然れども共產派と無政府派との内訌多年に亙りて、主義の普及行はる可くもあらず、一八八八

16 年に兩派の合同成りてより初めて社會民主的運動は政治上の意味を有するを得たり。當初専心主張せるは選舉法の改正、成年男子投票權の行使にして、一八九三年にターフェ伯が選舉法改正案を提出せるは、この主張を容れんが爲なりき。一八九七年に新選舉法を實施するや、社會黨は初めて十七人の代議士を帝國議會に出し、一九〇一年の總選舉には十人に減せしも、纏て普通選舉の要求益々激しく一九〇五年には街上に一揆の起るに至れり。かくて翌年普通選舉案は議會を通過して、社會主義は一躍して、議會内の有力なる政黨となり、一九〇七年の總選舉には百萬以上の投票を得て八十七人の代議士を選出した。由來奧國の議會は常に民族的確執の烈しきが爲、成績を擧ぐる能はざるの常なるが、新議會に於ては社會黨の強硬なる態度を執れるが爲、豫算の成立を見たることあり、ドクトル、アドラー、並にドクトル、レンナー等は著るしく社會主義の信用を高めたり。(ドレージ著奧國五二頁參看)。

白耳義に於て社會主義の初めて政界に現はれたるは、一八八五年に労働黨の組織されし時に在り。而も亦内訌絶えずして一八九四年に至り、漸くにして三十萬の投票を得て議會に二十八人の代議士を出したり。この年和蘭に於ても社會民主労働黨組織せられ、一九〇一年には七人の議員を擧げたり。白耳義の労働黨はその後黨勢の隆替常なく、一九〇六年には投票四十七萬に上りて、代議士三十人を得次で三十五人に増加したり。但し一八九四年の勢を脱兎に比す可くば、今や稍々處女の態ありと云ふ可し。伊太利に於て社會主義者の初めて議會に入りしは一八八二年にして、十年の後に至り社會民主黨に倣へる政黨創立せられたり。一九〇三年の總選舉には三十二人の代議士を出せしが、一九〇九年の總選舉には四十二人を擧げ、次で増加して四十五人となれり。伊太利の社會黨は黨内の軌轢甚しく、殆んど四分五裂の姿を呈せるが、政治社會に於ける勢力は決して侮る可からず。

17 以上の事實によりて之を觀察すれば、社會主義は最近二十年間否十年間に於て、俄然として政治社會の一大勢力となれるを知る可く、恰かも労働階級を風靡してその目的に向て濶歩しつゝあるが如し。然れども事實果して然るか、マルクスの夢想は將來果して實現さる可きか、萬國の貧民は果して相合同して、生産の手段たる

18 私有財産の廢止を要求しつゝありや。

三

社會主義者の目的とする所如何を知らんと欲せば、Ensorの新著 Modern Socialism [Harper] 1910 に就て研究するを以て最も便利なりとす。この書は社會黨の政綱數篇を收録せるが、殊に參照す可きは獨逸社會民主黨が、一八九一年エルフルトに於て議定せるものこれなり。この政綱は即ち有産社會と下層社會との階級的戦闘益々激烈なる可きを痛言し、土地、鑛山、原料、器械、交通機關等、生産に要する私有財産を舉げて社會の財産となし、社會の力を以て生産事業を經營するにあらずんば、下層社會の幸福を圖るの策なしとし、勞働社會を組織してこの自覺心の下に資本家に對抗せしめんことを期せり。佛國の社會主義も將た又英國の社會民主黨もその主張する所は皆同一轍に出づと雖も、而も各國の議會に於ける社會主義の勢力増進は、この政綱の目的とする所に向て進みつゝありや。社會主義者の誘説は勞働者を籠絡するに於て些の遺憾なく、或はその自負心に訴へ或はその利己心を動かし或は現在の不平を挑撥し或は將來の幸福を夢想せしめ、從來の政黨をし

て一指をも勞働者の上に加へしめざるの概ありと雖も、而もその黨勢に消長あるは偶ま以てその效果の意想外に乏しきことを證明せずんばあらず。今社會民主黨の根底最も鞏固なる獨逸に就て見るも、社會主義の精神を確守せる黨員は、社會黨の候補者に投票せる選舉人の一小部分に過ぎず。ドクトル、ミヘルスの一九〇六年の總選舉の結果に就て調査する處に據れば、ニュールムベルヒに於ては二割三分二厘ハムブルヒに於ては一割八分、伯林に於ては一割一分、ライプチヒに於ては一割四厘フランクフルトに於ては七分二厘、更にザクセンに於ては八分八厘、バーデンに於ては八分七厘に過ぎざりき。佛國に於ても一九〇六年の總選舉に於て社會黨の候補者は九十萬票を得しも同黨に加盟せしものは五萬二千人に過ぎざりき、見る可し、社會黨の候補者の當選の榮を得るは、社會のあらゆる方面に於ける不平家の後援を得るが爲にして、これらの不平家は必ずしも社會主義の階級的戦闘を是認するものにあらざることを。

19 社會主義と職工組合との關係も極めて曖昧模糊たるものにして國によりて大にその事情を異にせり。その關係の最も密切なるは勿論獨逸にして、一八六三年

20 にラッサールの社會主義の労働者同盟を組織せるは、即ち社會主義の發端なりと目さるゝの常なるが、職工組合と社會民主主義との相提携して大に勢力を擴張せるは、一八九〇年以來のとなり。而して社會民主黨に聲援を與へ、之が脊骨の重きを爲せる職工組合の数は極めて夥多しく組合員の数は一九〇一年に六十七萬人なりしが一九〇八年には百八十三萬人に上れり。而も他の組合員五十萬人は或は社會主義に反對し或は社會黨と無關係なることを明言しつゝあり。佛國にありては社會黨と職工組合との反目益々甚しく労働組合聯合本部は斷然國有主義と政治上の行動とに反對し、國家を敵視せり。佛國に於て職工組合をサンデカールと稱せるより、この主張をサンデカリズムと稱し伊太利に於て殊に贊成者多し。近頃蘇格蘭に起れる社會主義労働者黨も同一の主義に基き、米國にも同一の主張を爲せる者あり。更に英國に於ける社會主義と職工組合との關係如何と云ふに上述の如く新組合主義の勃興は、労働黨組織の因を爲せるが、職工組合加盟者二百四十萬人のうち労働黨に關係あるは約百五十萬人なるも、而も労働黨に關係せりて決して社會主義者なるにはあらず、勿論労働黨の牛耳を執れるは教育あり、冷

剛なる社會主義者なりと雖も、職工組合の領袖中には社會主義を擇ばざるもの少からず。而して組合員の多数はフットボール短艇競漕の勝負に熱中して他を顧みるの遑あらず。故に社會民主黨は労働黨の爲すなきを嘲笑せり。職工組合中に社會主義反對の思潮侮り難きものあるは、オスボーン事件によりて之を見る可く、その判決の結果、労働黨は強制的に職工組合に對して經費の分擔を逼ること能はざることゝなれり。一九〇九年に議院基金の拂込まれしもの一萬三千六百二十二磅に達せしが、社會主義者の團體より寄附せしは二百五十八磅に過ぎずしてその他は皆職工組合の醸出せる所なりき。今や職工組合員中には、その不快とせる政策に聲援することを好まざるものあり、職工組合政治自由同盟を組織して、政黨政治より職工組合を、不正の費消よりその基金を政治上の壓制よりその會員を保護せんことを期するに至れり。要するに労働者を目して社會主義化しつゝありとは認め難し。

21 更に轉じて社會主義の變遷如何と顧みるに、無政府派と共產派との間に起れる初期の軋轢は寧ろ手段の如何に重きを置けるものなりしが、無政府派は全く敗北

22 して少くも歐洲にありては、復た社會主義のうちに數へられざることゝなれり。次で之に代れる軋轢は、マルクスの血脈を傳へたりと信じて革命的手段の實行を期せるものと徐々に改革を實行して其目的に達せんことを志せる俗論派若くば政綱修正派即ち改革派との間に起れり。學說としては主義としては革命派は常に勝利を得るも事實に於ては俗論派の意見常に行はれ革命派の依然として月鬼を逐へるに反して俗論派は或は地方自治の局に當り、或は社會改革の實を收めつつあり。而して最新の社會黨中最も有力なる英國の獨立労働黨の如き、その主張極めて溫和にして、社會民主黨の精神たる階級的戰鬥に就て毫も云ふ所なし。かくて社會主義の運動益々普及すると共に、その根底は次第に動搖し、之と同時にその學說の前提も前後相次で排斥され、ゾムバルト教授の巧みに評せるが如く、社會主義の學說はヴェネチアの鐘樓の如く靜かに崩壊し了れり。之れが崩壊を來せるは主として事件の進行のマルクスの豫想の如くならざりしが爲なりと認む可きも、而も内部に現はれたる改革派並に無政府派の攻撃外部より加へられたるルシア、ボリユエ (Collectivisme) Mallock (A Critical Examination of Socialism, 1908) 等の酷評を

始として就中、シエフレイ教授、ゾムバルト教授、ドクトル、ハマヒヤイ等の好意を示しつつ、而も毫も假借することなき有効なる評論の力なりと云はざるを得ず。

かくの如くにして剩す所は唯私有財産制を廢止して社會に所有權を與へ、之をして責任を負はしめんと目的の存せるのみ、而もこれ果して實行し得可きことなるや。實行の結果は果して社會主義者の期待に副ふ可きや否や。Schaxel 教授は (L'Individualisme économique et social, 1907) のうちに痛論して曰く。

『奇跡はその領域より驅られて、經濟學にその避難地を看出せり。その全く當然のことなりとて主張する所を聽くに、勞少くして得多く、生産不廉にして物品を廉價に賣り得可く、企業心を癡痺せしめて、意志を堅固にし精神を鍛鍊し國民を強大ならしむ可く、無能の人物を行政の局に置いて治蹟を擧げしむ可く、人民に約するに不可能のことを以てして之を愛すること深しと唱へ、貧民と共に富裕の社會を組成し、社會の組織を破壊して吾人を幸福ならしめんとす云々。』

23 彼の濠洲を見よ、今や政權を掌握せる労働黨は、多年集産的政綱を標榜しつつ、ありしにも拘はらず、敢て之を實行せずして事實その不可能なることを證明せん

24 としてあるにあらずや。要するに集産的國家は實行し得可くもあらず、將た又希望す可くもあらず。社會主義の將來決して恐る可きものにあらず、マルクスの夢想私有財産の廢止は眞に癡人の夢のみ。

「フオルクウエース」とは何ぞや

田 中 一 貞

ウイリヤム、グラハム、サムナー博士は本年七十一歳の高齡を以てエール大學に於ける政治學、社會學の講座を擔當し博識強記講壇に立てば音吐朗々青年學生を威歴して巨人の前に屈する群羊の如くならしむ。彼は米國に於る自由貿易、貨幣制度に關する經濟學の大家として其著述中 *History of American Currency*; *Lectures on the History of Protection in the United States*; *What Social Classes Owe to Each Other*; *Protectionism* の諸書は其最も有名なるものなり。然れども余がサムナー博士を知れるは經濟學者としての博士に非ずして専ら社會學者としての博士にあり。余が一千九百一年より凡一年の間其社會學の講義を聽きし當時は博士の社會學なるもの稍舊式に屬しスペンサーの臭味甚多く、余をして充分満足せしむるに足らざりしも、其記憶の精確にして例證を引用するに當りては其材料の豊富なる敬服の外なかりき。彼は社會現象の動機をば *Hunger, love, fear* にありとし、*Hunger* によりて經濟的

「フオルクウエース」とは何ぞや

五二五